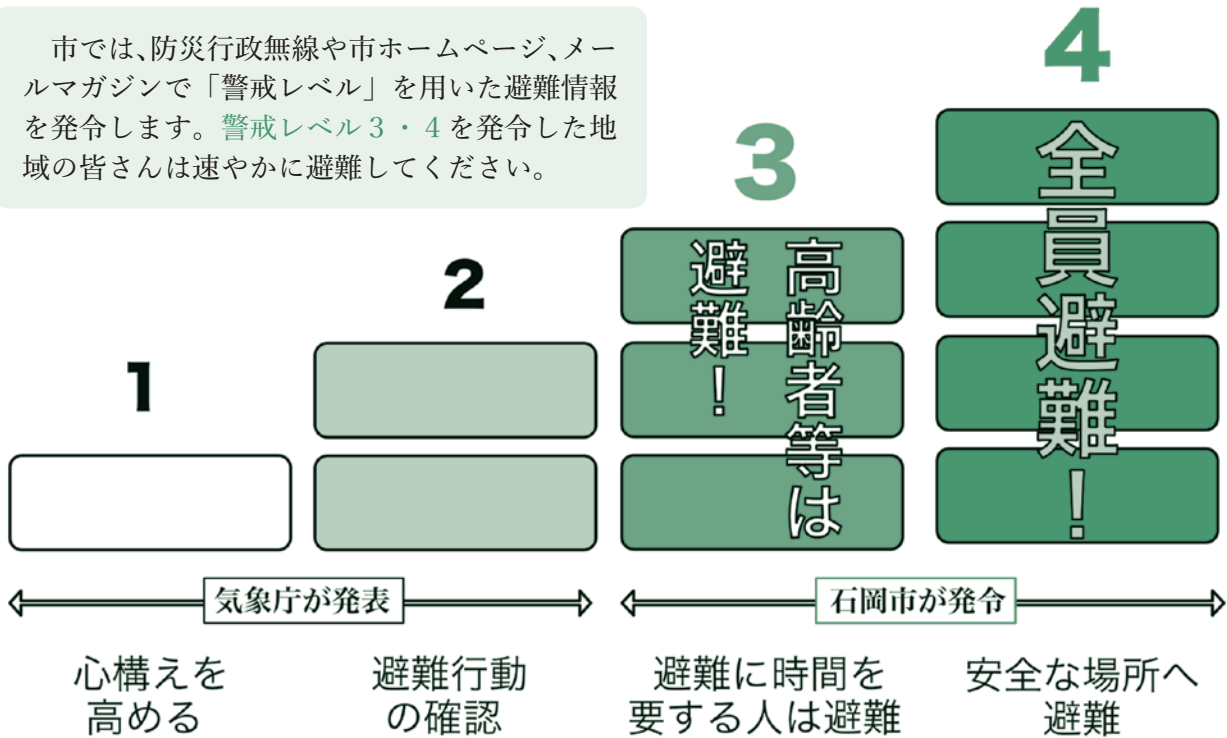


# 自然災害に備えましょう

**夏** から秋にかけては、台風や集中豪雨による洪水災害や土砂災害が発生しやすくなります。被害を最小限に抑えるためには、日ごろの備えと早めの避難が大切です。

## 【警戒レベル4】で全員避難！

市では、防災行政無線や市ホームページ、メールマガジンで「警戒レベル」を用いた避難情報を発令します。警戒レベル3・4を発令した地域の皆さんは速やかに避難してください。



**【警戒レベル5】（市が発令）は既に災害が発生している状況です。**

## ハザードマップで危険区域を確認しよう

市では、洪水や土砂災害などの際に、注意・警戒が必要な区域を示したハザードマップを作成しています。

いざという時のために、事前に危険箇所や避難ルートなどを確認しておきましょう。市ホームページからも確認できます。



▲洪水ハザードマップ



▲土砂災害ハザードマップ



# 台風、集中豪雨、地震…もしもの時に慌てないために 災害時の新型コロナウイルス感染症対策

**洪** 水や土砂災害から命を守るためには、危険な場所からの避難が必要です。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況において、避難所では密集・密接・密閉の「3密」による集団感染の恐れがあります。市では、避難所での感染拡大防止のため、定期

的な換気や避難者間のスペースを取った避難誘導などを実施します。

市民の皆さんも避難についてこれからご紹介する4つのポイントを確認・検討し、災害時においても新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします。

## 1 避難先を検討しよう

避難所が過密状態になると感染リスクが高まります。感染拡大防止の観点から、指定の避難所以外の選択肢（親せきや友人宅など）を検討しましょう。

夜間や大雨が降っている中での避難はかえって危険な場合があります。安全な場所にいる場合は、無理に避難所に行く必要はありません。※避難が必要な危険区域かどうかは、ハザードマップ（右ページ参照）で確認できます。

## 2 避難所での感染症対策

- ①マスク着用、こまめな手洗いうがいの徹底
- ②受付時に発熱などの体調チェック
- ③定期的な室内の換気
- ④避難者間で適度なスペースを取った避難誘導



## 3 必要なものを確認しよう

市では、避難所にある程度の食料や物資を備えています。しかし、数に限りがあるため、避難する際には、各自必要なものを持参してください。日ごろから必要なものをすぐに持ち出せるよう、準備しておくことが大切です。

## 4 感染症対策グッズも用意

普段備えている食料や飲料水、毛布などの他に、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクやアルコール消毒液、除菌シート、体温計など必要なものを備えましょう。

### 備蓄品・非常持ち出し品

食料品や水（1人1日3ℓ）は最低3日分用意しましょう。次の例はあくまでも参考です。家族にとって必要なものを用意しましょう。

<b>備蓄品</b> カセットコンロ ランタン 給水ポリタンク ペットのえさ 携帯トイレ CAT FOOD	食料品・飲料水 ビニール袋（敷物、トイレ） ティッシュペーパー・ウェットティッシュ 水のいらぬシャンプー 粉ミルク・ほ乳ビン 紙おむつ
<b>非常持出品</b> 懐中電灯・携帯ラジオ ライター・マッチ 現金・貴重品 衣類 軍手 救急セット・常備薬・お薬手帳 生理用品	防寒衣 毛布 寝袋 携帯カイロ
<b>冬の備え</b> 段ボール 新聞紙 七輪	

### 感染症予防対策グッズ

マスク	除菌シート
体温計	アルコール消毒液

※その他、自分にとって必要なもの・使い慣れたものを準備しておきましょう。